



群馬大学共同教育学部附属小学校

学校案内 2024



「つよく」「たたく」「かしこく」
なろう



ごあいさつ

群馬大学共同教育学部附属小学校は、1949年に群馬大学群馬師範学校附属小学校として発足し、その後1951年に群馬大学学芸学部附属小学校、1966年に群馬大学教育学部附属小学校、さらに2020年4月1日に宇都宮大学と共同教育学部となったことで群馬大学共同教育学部附属小学校に改称され、現在に至ります。

さて、現在の附属小学校の教育の特色についてご紹介します。

まず、「つよく ただしく かしこく」の学校教育目標、それを具体化した目指す子ども像に向かい、日々「分かる できる 楽しい 笑顔」で教育活動を実践していることが挙げられます。「令和の日本型学校教育」の姿にある「個別最適な学び」や「協働的な学び」の視点を考慮し、授業に様々な工夫を取り入れています。

次に、教育効果を高めるICT機器の積極的な活用をし、あらゆる授業において子どもたちがタブレット端末を活用しながら、学んでいることです。授業支援アプリ「ロイロノート」、Google Forms等の活用により、自分と他者の考えを共有・比較し、互いに影響し合いながら、学びを深めています。

最後にグローバル・グローバル人材育成の素地となる教育を積み重ねていることです。小学校英語科が必修となる以前より、英語母語話者教員が常駐し、英語の授業だけではなく様々な教育活動に関わり、日常的に英語でコミュニケーションが行える環境にあります。さらに、大学と連携し、毎年留学生との英語によるコミュニケーション活動を行っております。「つよく ただしく かしこく」を基本的教育理念とし、ICT機器を効果的に活用した学び、そして英語コミュニケーション能力が高められる教育環境は、正に今、国が必要とするグローバル・グローバル人材育成につながる教育と考えます。

教職員一同、群馬大学共同教育学部附属小学校のよき伝統を守り、新しい時代のニーズに合った教育、子どもたち一人一人の学びに寄り添う教育を目指して、努力していく所存です。

どうぞよろしくお願いいたします。



校長 渡部 孝子

2022年度

群馬大学共同教育学部附属小学校長 就任

学校概要

● 学校経営の基盤

① 附属小学校としての使命達成に努める

……学部との連携、教育実習の充実、附属3校園（中学校、幼稚園、特別支援学校）との連携

② 全国的視野・将来展望に立って教育研究を進める

……群馬大学・群馬県教育委員会との連携、小学校教育の将来的な姿を見据えた研究と実践

③ 教員研修の充実を図る

……校内研修の充実、教育研究会への参加・協力、研究出張の推進

● 規模

学 年	学級数	児童数
1 学年	3 学級	1 0 2 名
2 学年	3 学級	1 0 0 名
3 学年	3 学級	9 9 名
4 学年	3 学級	9 9 名
5 学年	3 学級	1 0 1 名
6 学年	3 学級	1 0 1 名
合 計	1 8 学級	6 0 2 名

教 員	2 7 名
非常勤講師	1 2 名
事務職員等	1 1 名

令和6年6月1日現在



つよく・たたく・かしこく

● 目指す子どもの姿

- <つよく> ○目標をもって粘り強く取り組み、失敗しても挑戦する子ども
○心身共に元気でたくましい子ども
- <たたく> ○笑顔で生活し、相手の思いや考えを大切にする子ども
○進んで挨拶をし、ルールやマナーを守って行動する子ども
- <かしこく> ○主体的に学習に取り組み、新たな価値を創り出す子ども
○様々な課題の解決に向けて、友達と共に追究する子ども

特色ある教育方針

① 非認知能力の育成

各教科等において、知識・技能などの認知能力とともに、「粘り強さ」「協働性」「目標への情熱」などといった非認知能力を一体的に育成する教育を行っています



② 探究的な学習

本校の総合的な学習の時間「くすの木タイム」を軸として、子どもが自ら課題を見だし、よりよく解決することを通して、自己の生き方を考える学習を行っています



③ 体験を重視した学習

たくさんの現場学習等を実施して、実際に見たり聞いたりして体験することを重視し、子どもたちの実感を伴った理解を促します



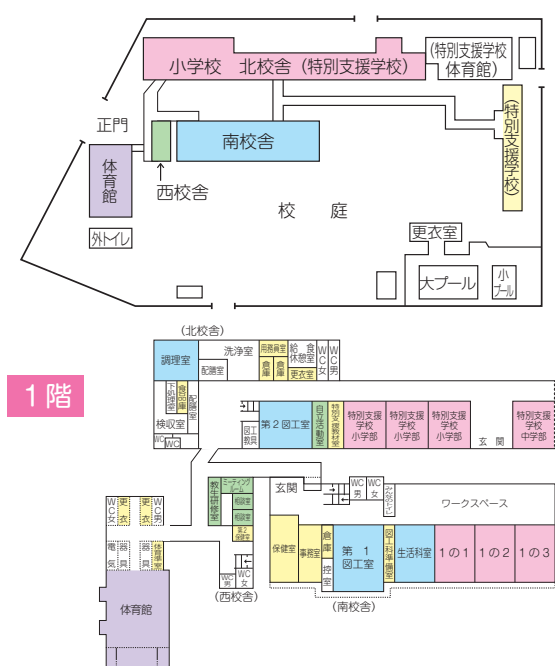
学校施設

授業や休み時間など、学校生活を過ごす3階建ての3つの校舎。

各階の教室をはじめ、理科室や調理室、図書室（学校図書館）などの特別教室があります。

校舎の外には、樹齢100年をこえる学校のシンボル「くすの木」があり、広々とした校庭には、毎日子どもたちの元気な声が響きます。

附属小学校は、附属特別支援学校と同じ校舎を使っており、両校の交流及び共同学習を盛んに行っています。



●教室（南校舎）



●ワークスペース



●教室（北校舎）



●イングリッシュルーム



●調理室



●第1理科室



●図書室（学校図書館）



●第1音楽室



●体育館



●南・西校舎外観



●トイレ



●学校のシンボル くすの木



附属小学校の1年

1年を通して、心躍るたくさんの行事があります。
ひとつ季節がめぐるたびに、成長を実感すること
でしょう。
その一部をここにご紹介します。

4月

- 1学期始業式
- 入学式
- 1年生を迎える会
- 交通安全教室
- PTA総会・教育後援会
総会(オンライン)



5月

- 火災避難訓練
- 学習参観日
- リレー大会



6月

- 公開研究会
- 学年自由参観日



9月

- 教育実習
- 前橋クリーン作戦
- 運動会



8月

- 2学期始業式
- 地震避難訓練



7月

- 1学期終業式
- 個人面談
- 倉淵林間学校(4年)
- 赤城林間学校(5年)

10月

- 赤城オリエンテーリング
(1年)
- 榛名湖畔
オリエンテーリング
(2年)
- 妙義オリエンテーリング
(3年)



11月

- 修学旅行(6年)
- 不審者避難訓練
- 演劇鑑賞会(隔年)
- 音楽鑑賞会(隔年)
- 災害時引き渡し訓練



12月

- 日曜学習参観
- 個人面談
- 2学期終業式



3月

- 6年生を送る会
- 卒業式
- 修了式・退任式



2月

- 附属中学校体験入学
- 感謝の集会



1月

- 3学期始業式
- なわとび大会



校時表

	A校時 (月・水・金)	B校時 (火・木)
登校時間	7:40～ 8:20	
健康観察	8:20～ 8:25	
朝の活動	8:30～ 8:50	
朝の会	8:50～ 9:00	8:25～ 8:35
第1校時	9:00～ 9:45	8:35～ 9:20
第2校時	9:50～10:35	9:25～10:10
休み時間	10:35～10:55	10:10～10:30
第3校時	10:55～11:40	10:30～11:15
第4校時	11:45～12:30	11:20～12:05
給食	12:30～13:20	12:05～12:55
清掃	13:20～13:40	
昼休み 児童会の時間	13:40～14:00	12:55～13:35
第5校時	14:00～14:45	13:35～14:20
第6校時	14:50～15:35	14:25～15:10
帰りの会	15:35～15:45	15:10～15:20
5校時終了日 の下校時刻	～15:10	～15:10
下校時刻	～16:00	～15:30

登下校

自力登下校を原則としています。バスや電車を使って登下校する児童もたくさんいます。安全な乗り降りを警備員が見守ります。
また、委員会による挨拶運動を行うなど、気持ちよく登校できるようにしています。



朝の活動

委員会による児童朝会や、縦割り班でのおはよう活動、合唱を楽しむ音楽集会、低学年対象のイングリッシュタイムなどに参加し、一日を楽しくスタートしています。



休み時間・昼休み

校庭で元気に遊んだり、図書室（学校図書館）で読書をしたりして過ごします。高学年は委員会などの児童会活動を行う日もあります。



給食

調理室で作られる給食は、おいしく栄養満点と大好評です。栄養士や調理員たちが毎日心を込めて作っています。



よくあるご質問

Q 前橋市外に住んでいますが、受験することができますか？

A. 群馬県にお住まいであれば受験ができます。

2020年度より校区を撤廃しました。現在は、市外から受験・通学する子どももいます。通学に要する時間が60分程度で、6年間、安全に無理なく自力で通学できることを受験の条件としています。ただし、電車を利用する場合は、駐車スペースがある駅に限り、自家用車で送ることができます。

Q 登下校の安全が心配です。携帯電話は持たせてもよいでしょうか？

A. 現在、GPS機能付きで通話及び対話（双方向でのやりとり）はできないものを許可しています。

通学に慣れるまでの1年生の1学期は、下校時に教職員が各バス停や学童保育所まで一緒に下校したり、保護者や地域の方々のご協力のもと、交通指導をしたりしています。また、校門を通過したことを保護者にメールでお伝えするサービスに任意で加入することができます。

Q 学習面での特長を教えてください。

A. 先進的で充実した授業が本校の特長です。

本校の教員は、文部科学省の提唱する「主体的・対話的で深い学び」を目指して、日々、授業改善を行っています。どの教科でも、子ども一人一人が学びの主人公となり、ICTを活用しながら、問題解決に取り組む学習のスタイルを実践しています。また、これからの社会で活躍できる人材に必要とされる「非認知能力」の育成にも力を入れた6年間のカリキュラムとなっています。なお、学習内容は、学習指導要領に準拠していますので、他の公立学校と大きく異なることはありません。

Q 附属幼稚園からの児童が多い中でなじめるかどうか不安です。

A. 約2人に1人は一般入学児童です。

令和6年度入学の1年生102名のうち57名が一般入学児童です。また、入学後は幼保小のスムーズな接続を目指したスタートカリキュラムを通して、学校生活への適応や子ども同士の関係づくりを進めていきますので、安心して小学校生活を始めることができます。また、子どもたちはみんな明るく素直で、高学年になっても、男女分け隔てなく生活しています。

Q ICT環境について教えてください。

A. 全ての教室、特別教室、体育館に、大型モニターを設置し、Wi-Fiを利用して授業を行っています。

一人一台タブレット型端末を学校から貸与しています。ロイロノートという授業支援アプリを活用し、即座に意見を共有したり、共同で編集をしたりし、授業における学びを充実させています。

令和7年度入学児童の募集について

日 程

◇附小入試公示		
令和6年 5月 1日（水）		
◇学校説明会		
令和6年 6月25日（火）		
◇願書交付		
令和6年 9月25日（水）～10月29日（火）		
●交付時間：午前9時～12時及び午後2時～4時 （ただし、土曜日、日曜日、祝日、10月28日は除く）	●交付場所：本校事務室（南校舎1階）	
◇願書受付		
令和6年11月 5日（火）～11月 6日（水）		
●交付時間：午前9時～12時及び午後2時～4時	●受付場所：本校南校舎1階	
◇令和7年度入学者選考		
○第一次選考 令和6年11月17日（日） ※ただし、応募者が140名を超えない場合は実施しません。		
○第二次選考 令和7年 1月10日（金）		
◇合格者発表等		
令和7年 1月14日（火）		
●合格者発表：午前9時 本校正門内掲示板及びホームページ	●合格手続き：午前9時～11時 体育館	

応募資格

次の(1)、(2)または、(1)、(3)の条件をそれぞれ満たす者

- (1) 平成30年4月2日から平成31年4月1日までに生まれた者
- (2) 令和6年10月1日現在、保護者と共に群馬県内に居住し、別記に示す条件を満たす者
- (3) 令和6年10月1日現在、群馬県内に保護者と共に転住することが確実であり、別記に示す条件を満たし、出願が認められた者

※(2)のうち、災害等により住民票を移さないまま居住している者、及び(3)については、出願承認申請を行い、出願の許可を受ける必要があります。お問い合わせの上、10月17日(木)までに申請し、許可が得られた場合に限り、願書の交付を受けて、出願の手続きをしてください。

【別記】

本校の通学にあたっては、次の(1)～(4)の条件を全て満たすこととする。

- (1) 登下校にかかる時間が、おおむね片道60分程度までの範囲であること
- (2) 徒歩または公共交通機関を使用して、6年間、自力で登下校できること
 - 鉄道を利用する場合に限り、自宅から最寄りの駅までは、自家用車での送迎を可とする(バス停への送迎は不可)
 - ※ただし、上毛電気鉄道を利用する場合、以下の駅以外の駅への自家用車での送迎は、駐車スペースがないため、不可とする
上泉駅、江木駅、大胡駅、北原駅、粕川駅、新里駅、赤城駅、西桐生駅
- (3) 登下校時刻が変更(早帰り等)になった場合にも対応できること
- (4) 学校からの緊急連絡等を受けて、保護者等が必ず、速やかに対応(迎えに来るなど)できること



学校教育目標

つよく ただしく かしこく

目指す子ども像

- | | | |
|--------|------------------------------|-----------------------------|
| (つよく) | ○目標をもって粘り強く取り組み、失敗しても挑戦する子ども | ○心身共に元気でたくましい子ども |
| (ただしく) | ○笑顔で生活し、相手の思いや考えを大切にする子ども | ○進んで挨拶をし、ルールやマナーを守って行動する子ども |
| (かしこく) | ○主体的に学習に取り組み、新たな価値を創り出す子ども | ○様々な課題の解決に向けて、友達と共に追究する子ども |

附属小の「あいいうお」「あ」…すすんであいさつ「い」…いじめゼロ「う」…そとでうんどう「え」…えがおでせいかつ「お」…おもいやりのこころ

経営の視点と具体的な取組

「つよく、ただしく、かしこい子ども」の育成を目指す 研究推進と 日々の授業改善	「主体的・対話的で深い学び」の実現 児童の資質・能力を伸ばすために、日々の授業改善を図るとともに、「非認知能力」に着目した教育研究を推進する。 学年・学級の充実と学び方の定着 学校全体で継続的に、「共に分かるプロジェクト」を推進し、学習基盤を整え、児童の学び方の定着を図る。 教職員の資質と指導力の向上 公開提案授業・部内授業等の一層の充実を図るとともに、他附属等の公開研究会や各種研修会に積極的に参加し、成果等を本校教職員に還元する。 組織的な取組 児童・学校の実態及び諸課題、学校評価の結果及び「反省と提言」、働き方改革の視点等を踏まえ、各分掌組織において、課題の明確化と解決策の具体化、組織的な取組を図る。
児童が活躍し、 いじめのない 学校づくり	居場所のある学校づくり 児童一人一人に責任ある役割を与え、学級や学年、学校全体の中で役立ち、活躍できる場面を意図的につくる。 いじめや問題行動等の防止 いじめや問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応、組織的な対応を徹底し、児童が自己有用感を高め、楽しい学校生活を送ることができるよう、積極的な生徒指導に努める。
教育効果を高める ICT機器の 積極的な活用 (授業・校務)	学習活動の一層の充実 児童が、ICT機器やデジタル教科書等を積極的かつ効果的に活用できるよう、学習活動と指導方法の改善を図る。 教育環境づくり 学校予算等を有効に活用して、校内施設・設備の改修、ICT機器の整備・充実等を図り、児童がよりよく学べるようにする。 働き方改革 教職員が附属学校の使命を達成できるよう、校務及び諸会議、行事等の精選・改善及びICT機器の効果的な活用に努める。
健康と安全の意識を高める 指導の充実と 教職員の危機管理意識 の向上・体制の充実	健康と安全に対する意識の向上 児童が危険回避能力を身に付けられるよう、健康教育と安全教育の充実にも努める。 危機管理の徹底 危機管理対応マニュアルの見直しと活用を図り、教職員の危機管理意識を一層高め、問題の未然防止、早期発見、早期対応、組織的な対応を徹底する。
家庭や地域、学部、 県教育委員会、 附属3校園、 外部関係機関との 一層の連携	情報の発信 学校通信や学年通信、学校ホームページ等により、教育活動や児童の成長の様子を家庭や地域に積極的に提供し、本校への理解と信頼を深められるよう努める。 家庭との連携 保護者が学校に相談しやすい環境や体制を整え、学校と家庭で児童のよさや課題を共有して、必要な指導・支援に当たれるよう努める。 地域との連携 地域の関係機関(関係自治会、みずき中地区学校、前橋警察署生活安全課、児童相談所、前橋市子育て支援課、青少年支援センター等)との連携を深め、児童の安全確保と健全育成に努める。 附属3校園との連携 附属学校部のガバナンスに基づき、附属3校園との一層の連携を図る。 学部、県教育委員会との連携 教育研究において、附属学校の強みを生かし、学部及び県教育委員会と連携して、教育の質の向上を図る。 教育実習の充実 学部と連携して、実習生に教職のやりがいや魅力を伝え、教育現場で役立つ力を培えるよう努める。 学校評価に基づく学校づくり 学校評価を有効に活用するとともに、学校関係者からの評価を踏まえ、より広い視野に立った学校づくりに努める。

教育活動の合い言葉「分かる できる 楽しい 笑顔」

経営の基盤

附属学校としての使命達成に努める

- 学部と連携・協力し、小学校教育の実証的研究に努める。
- 教育実習の充実を図り、優れた教員養成に努める。
- 附属3校園との交流や共同学習などを進め、よりよい教育の在り方を追求する。

全国的視野・将来展望に立って教育研究を進める

- 附属学校連盟や各種教育研究団体との連携を図りながら、全国的視野に立ち、小学校教育の将来的な姿を見据えた研究と実践に努める。
- 群馬県教育委員会、各種教育研究団体等との連携を図り、県内のモデル校として、積極的に県下小学校教育の進展に寄与する。

教員の研修の充実を図る

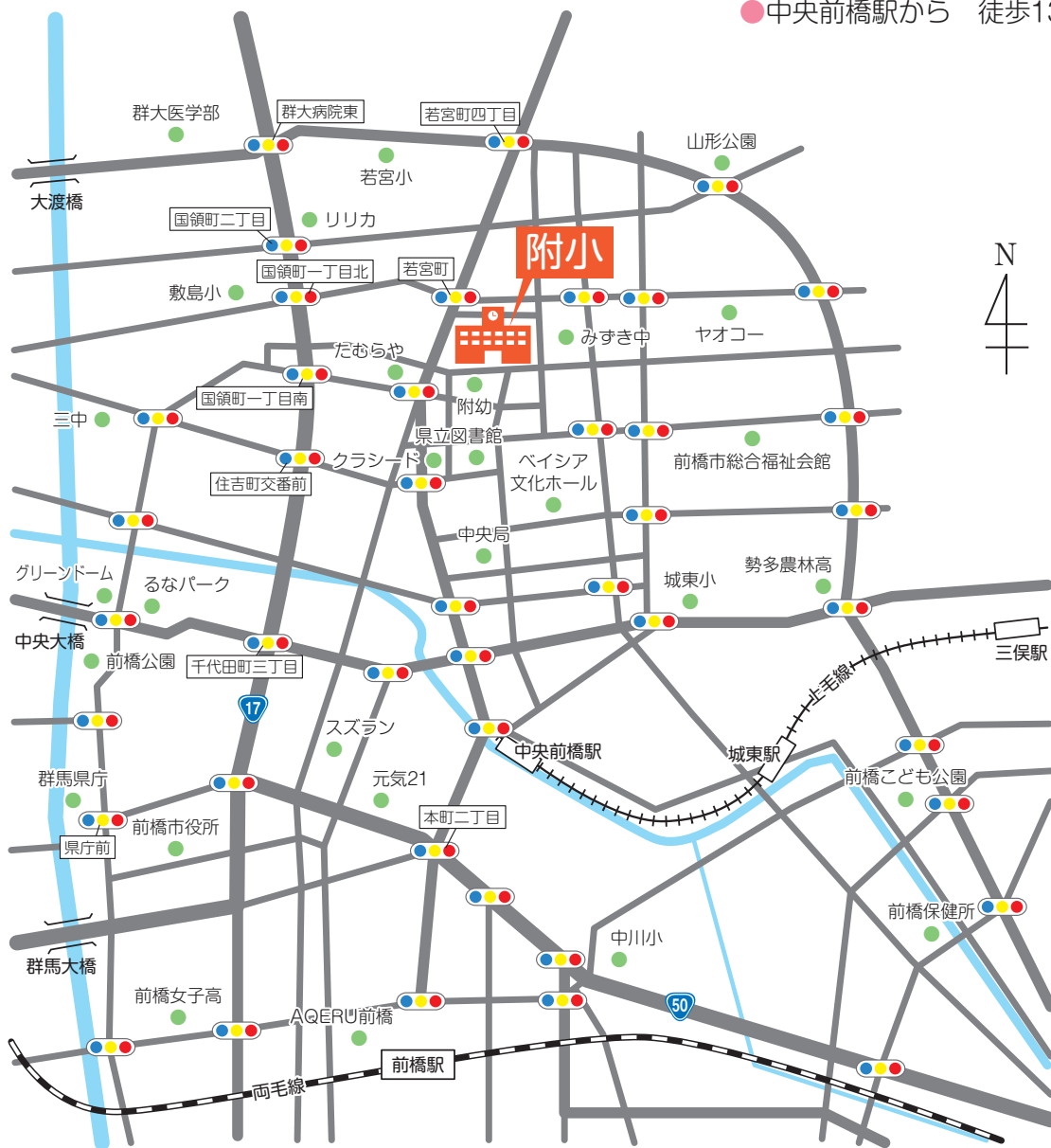
「附属学校としての使命」「群馬県下の小学校教育の進展への寄与」を達成するために、教員の研修を重視し、校内の研修を充実させるとともに、学校外の教育研究会等にも積極的に参加・協力する。

交通アクセス

● JR前橋駅から
荻窪公園行
嶺公園行
小坂子行

バス 6分

● 中央前橋駅から 徒歩13分



募集人員：52名程度

※詳しくは募集要項をご覧ください。



群馬大学共同教育学部 附属小学校

〒371-0032

群馬県前橋市若宮町二丁目8番1号

TEL. 027-231-5725 FAX.027-231-2828

<https://es.edu.gunma-u.ac.jp/>



令和6年6月作成



国立大学法人
群馬大学